

令和2年度  
事業報告書

社会福祉法人 安芸高田市社会福祉協議会

自 令和2年 4月 1日

至 令和3年 3月 31日



# 目次

■事業報告概要.....	1
--------------	---

## ■事業報告

### 【総務課】

(1) 法人運営事業.....	4
(2) センター受託管理運営事業.....	7

### 【地域福祉課】

(1) 小地域のお茶の間サロン事業.....	8
(2) 認知症カフェ事業.....	10
(3) 福祉サービス利用援助事業「かけはし」.....	10
(4) 地域福祉交流推進基金事業【地域福祉会議】.....	11
(5) 福祉・介護人材確保基盤整備事業.....	14
(6) ふれあいサロン事業.....	15
(7) 成年後見事業.....	16
(8) ボランティア活動・被災者生活サポートボラネット事業.....	16
(9) 日常生活応援サービス事業「ほほえみネット」.....	18
(10) 安心生活創造事業.....	19
(11) ファミリー・サポート・センター事業.....	19
(12) 子育て支援センター一時預り事業.....	20
(13) 障がい者地域生活アシスタント事業.....	21
(14) 配食サービス事業.....	21
(15) 生活福祉資金・つなぎ資金貸付事業.....	22
(16) 車椅子1日無料貸出.....	22

### 【関連機関事務事業】

(1) 安芸高田市共同募金委員会事務事業.....	23
(2) 共同募金配分金事業.....	23
(3) 日本赤十字社広島県支部安芸高田市地区事務事業.....	24

### 【在宅福祉課】

介護保険事業.....	26
(本所事業所)	
(1) 居宅介護支援事業.....	26
(2) 福祉用具貸与事業.....	27
(3) 福祉用具販売事業.....	28

(吉田事業所)

(1) 訪問介護事業.....	28
(2) 障害者自立支援事業.....	28
(3) 養育支援家庭訪問事業（受託）.....	29
(4) 訪問介護自費サービス事業.....	29

(甲田事業所)

(1) 訪問介護事業.....	29
(2) 障害者自立支援事業.....	30
(3) 通所介護事業.....	30
(4) 一般介護予防事業（げんき教室）.....	31

**【地域包括支援センター】**

(1) 総合相談業務（権利擁護相談含む）.....	32
(2) 権利擁護業務.....	33
(3) 包括的・継続的ケアマネジメント業務.....	34
(4) 介護予防ケアマネジメント業務.....	35
(5) 市・関係機関との連携.....	36
(6) 出前講座.....	36
(7) 講師派遣.....	36
(8) 研修会への参加.....	37

# 令和2年度 安芸高田市社会福祉協議会 事業報告

## ■事業報告概要

### ◆はじめに

令和2年度は、第2次中期経営計画(地域福祉活動計画)2年度目にあたり、「ともに支えあい、心豊かに」を基本理念に、＜地域福祉と在宅福祉の融合＞、＜福祉の開拓者として＞の2項目を基本方針の柱に掲げ、事業推進を図りました。

新型コロナウイルス感染症の発生により、緊急事態宣言が発出される中、感染症対策を行ないながら事業を継続し、消毒、換気、3密対策を徹底し、利用者の皆様の期待に応えられるよう、寄り添いながら、毎日、緊張し丁寧な作業を繰り返し行ないました。

また、地域共生社会の実現に向け、「地域福祉会議」を3町に設置し、県社協の応援を得ながら、地域課題の解決に向けた取り組みを行なってまいりました。

福祉・介護人材確保基盤整備の推進として行政、福祉施設等と協働し、「介護職員初任者研修」をはじめとする事業を実施し人材の育成・定着に努めてまいりました。

さらには、地域福祉課、介護保険事業所と地域包括支援センターによる連携強化によるサービスの向上を行ない、役職員が一丸となり事業活動の「見える化」を行なう中で、社協会員である地域住民に対し、市社協事業内容の啓発を行ないました。

その中で、全世代を視野に置き、住民主体の地域課題の解決力の向上と地域支援のあり方を改めて確認しながら、将来像を見据え、地域共生社会の実現を目指し、次の重点取組を柱に各事業を展開し、地域福祉の更なる充実に取り組みました。

### ◆令和2年度の取組

#### 1. 地域福祉と在宅福祉の融合～地域共生社会づくりの強化

##### (1) 人つながりと地域づくりの強化

###### 地域福祉会議の推進

県社協との協議を重ねながら、吉田・美土里・八千代町の地域福祉会議の運営を行ないました。

福祉課題解決に向けた協議を進め、6町で支援が展開できる足掛かりを構築しました。

相談窓口である地域包括支援センター及び関係機関との連携を図りました。

(2) 相談機能の強化

地域包括支援センターの3職種1ユニットを甲田支所に配置し、高宮、甲田、向原地区の相談機能の強化を図るよう準備を行なっています。

機器等の更新が行なわれ、システムの構築を図り、より充実した支援体制を図ってまいります。

(3) 権利擁護支援体制の強化

福祉サービス利用援助事業かけはしの契約登録件数は36人、延支援回数5,840回となり、定期的な支援と、関係機関との連携により、専門的な支援を行ないました。

成年後見事業では、法人受任3件、延193回の支援を行ないました。

(4) 介護保険事業の充実と強化

県・市による介護保険事業所の実地指導があり、適正な運営であるとの指摘をいただきました。

引き続き、適正な事業運営を目指し、体制の整備の図ってまいります。

また、国保連への請求事務等、介護現場と事務職員の役割を明確化しました。

(5) 地域包括支援センターの充実と強化

民生委員、関係機関と連携し、地域課題の解決に向けた支援を展開しました。「地域福祉会議」と、協働し地域福祉へ社会福祉協議会としての役割が果たせるよう連携を強化しました。

委託事業所との連携を強化し、自立支援型ケアマネジメントを視野に適切な介護保険サービス等の利用調整、支援を行いました。

(6) 他団体との連携

福祉・人材確保等総合支援協議会を開催し、福祉・介護人材の確保・育成・定着を図る取り組みの一環として、介護職員初任者研修を実施し14名の受講を支援し全員が修了試験に合格できました。

また、介護支援専門員の模擬試験対策講座を行ない、1名の方が資格取得されました。各団体や関係機関と協議しながら、地域の担い手を創出するために継続して事業を取り組みます。

## 2. 福祉の開拓者として～社協組織と財政基盤の強化

### (1) 組織経営の強化

理事会、評議員会の運営の強化を行うため、経営会議などの実施を行ない、毎月の定例化を目指した取り組みを行ないました。

監事会における指摘事項等を組織経営の改善の柱として取り組みを行ない、税理士等との連携を図りました。

### (2) 事務組織の強化

定期的な研修を行ない、職員の資質の向上を図るとともに、事務組織の在り方等が定着するよう、幹部研修を定期的に行っていました。

介護保険事業における指導監査の適正化に向けた取り組み、請求業務の適正化を図るための、事務組織の強化を図っていました。

### (3) 財源確保の強化

社協の事業に賛同、理解していただける取り組みを行いながら、会費納入率の向上、寄附金の増額に向けて取り組みました。

地域福祉事業の財源となる共同募金運動として、コロナ禍で街頭・イベント募金は中止としましたが、商工会の協力のもと、賛同をいただいた企業や商店の窓口に募金箱を設置等、赤い羽根募金活動を行ないました。

各町の福祉委員等のご尽力により、募金総額5,140,086円となりました。

自主財源の長期的運用・管理を行ない、財政基盤の強化を図りました。

市と協議を継続し、重層的支援体制整備等、社協の専門性を発揮できるよう財源確保に向けた取り組みを継続します。

### (4) 法令遵守等体制の整備

新型コロナウイルス感染症の対策として、感染症マニュアルを策定し「3密を避ける」「手洗い、マスク着用」「不要不急の外出を避ける」等、従業員、利用者、住民の方々の協力のもと感染症対策を行ないました。

また、国からの感染症対策の補助金等を活用し、保健センター・甲田支所にAI顔認証型体温計を設置し、オゾン発生装置を各事業所に設置しました。

研修として、弁護士による法令遵守の研修会を実施し、体制整備を図っていました。

## ■ 事業報告

令和2年度の各事業の実施状況について、次のとおり報告いたします。

### 【総務課】

#### (1) 法人運営事業

社協の基本理念や基本方針に基づいた活動、事業を計画的に展開するにあたり、役職員が法人組織としての使命や役割について、共通した目的や認識を持ち、社協運営事業を円滑に進めるため、諸会議を開催し、会務の運営を図りました。

##### ① 理事会：計3回

区分	内容	実施日
第1回	○令和元年度事業報告・資金収支決算の承認について他	令和2年5月29日
第2回	○規程の一部改正について、資金収支補正予算(第1次)について	令和2年11月25日
第3回	○規程の一部改正について、令和3年度事業計画、令和3年度資金収支予算について他	令和3年2月26日

##### ② 監査：計2回

区分	内容	実施日
第1回	○令和元年度事業報告及び決算等、日本赤十字社安芸高田市地区に関する事項及び業務、安芸高田市共同募金委員会に関する事項及び業務	令和2年5月18日
第2回	○令和2年度上半期事業報告および経理状況等、日本赤十字社安芸高田市地区に関する事項および業務、安芸高田市共同募金委員会に関する事項および業務	令和2年10月26日

##### ③ 評議員会：計3回

区分	内容	実施日
第1回	○令和元年度事業報告・資金収支決算の承認について	令和2年6月15日
第2回	○資金収支補正予算(第1次)について他	令和2年12月7日
第3回	○資金収支補正予算(第2次)について、令和3年度事業計画、資金収支予算について	令和3年3月10日



④ 市福祉保健部・市社協社会福祉事業調整協議会：計3回

区分	内容	実施日
第1回	○運営事業及び受託事業について	令和2年8月25日
第2回	○令和3年度予算要望について	令和2年11月20日
第3回	○令和3年度予算について	令和2年12月16日

⑤ 総務・介護保険事業関係合同部会：計2回

区分	内容	実施日
第1回	○第2回理事会提出議案についての審議、通所介護事業の平成30年過誤請求の会計処理、レクリエーション備品貸出について	令和2年11月18日
第2回	○第3回理事会提出議案についての審議、福祉用具貸与事業所の移転について	令和3年2月19日

⑥ 広報委員会：計4回

区分	内容	実施日
第1回	○社協だより「第65号」掲載内容について	令和2年4月7日
第2回	○社協だより「第66号」掲載内容について	令和2年7月3日
第3回	○社協だより「第67号」掲載内容について	令和2年9月1日
第4回	○社協だより「第68号」掲載内容について	令和2年12月2日

⑦ 役員全員協議会：計4回

区分	内容	実施日
第1回	○新型コロナウイルス対策について、小地域お茶の間事業、決算概要について	令和2年5月13日
第2回	○第1回理事会提出議案についての審議、小地域お茶の間サロン事業実施要綱について協議	令和2年5月21日
第3回	○小地域のお茶の間サロン事業の監査後の改善方針について、地域福祉会議の推進状況について	令和2年7月15日
第4回	○地域福祉会議の運営について、小地域のお茶の間サロン事業の備品の有効利用について、コロナ対策経費について	令和2年8月24日

⑧ 生活福祉資金貸付審査会

開催実績なし

⑨ 福祉委員説明会

開催実績なし

- ⑩ 苦情解決に関する処理要綱の第三者委員会  
開催実績なし

⑪ 役職員関係

地域福祉会議並びに新任管理者の研修を行い、役職員共に今後の運営に研鑽を深めました。また、各種研修に積極的に参加し、職員全体の資質向上に努めました。

区 分	内 容	実施日
役員・評議員等研修	○県社協意見交換会	令和3年2月5日
職員研修	○新任管理者研修 ○弁護士研修 法令遵守等 ○その他事業別研修等	令和2年6月19日 令和3年3月18日 随時

⑫ 会費関係

広報やホームページでの啓発やチラシを配布し、積極的に声掛けを行ない、社協会員の加入促進を図りました。

社協会費納入（集計金額 令和3年3月31日現在） [単位：円]

	戸別会費	賛助会費	団体会費	合 計
吉 田	1,265,000	28,000	123,000	1,416,000
八千代	561,000	6,000	60,000	627,000
美土里	417,000	5,000	24,000	446,000
高 宮	522,500	5,000	48,000	575,500
甲 田	684,000	20,000	48,000	752,000
向 原	635,000	3,000	12,000	650,000
市 外		2,000	33,000	35,000
合 計	4,084,500	69,000	348,000	4,501,500

会員加入状況（令和3年3月31日現在） [単位：件]

	賛助会員	団体会員
吉 田	28	41
八千代	6	20
美土里	5	8
高 宮	5	16
甲 田	20	16
向 原	3	4
市 外	2	11
合 計	69	116

## (2) センター受託管理運営事業

安芸高田市から4施設の指定管理委託を受け、地域の福祉拠点として、多様化する住民ニーズに対応した場として運営ができるよう、設備の維持管理等を行いました。

管 理 施 設	延利用団体数	延利用者数 (人)
保健センター	263	4,880
吉田老人福祉センター	189	1,472
ふれあいセンターいきいきの里	158	1,663
ふれあいセンターこうだ	79	841
合 計	689	8,856

## 【地域福祉課】

### (地域福祉事業)

#### (1) 小地域のお茶の間サロン事業

- ① 常設的な拠点で地域課題を共有し、その地域課題を地域の中で解決できる仕組みづくりを構築し、高齢者等の日中の居場所づくりとして、支援を図りました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策に伴い、12月開催自粛および、感染予防の徹底のお願い通知文書を発送

実施地域：美土里町横田地区

1) くつろぎハウスよこた運営

開所日：毎週月曜日・水曜日・金曜日

時 間：9：30～16：00

場 所：美土里町高齢者コミュニティセンター

〔実績表〕

延開所日	延べ利用者数
107	2,154

実施地域：甲田町小田東地域

1) 小田東ひだまりサロン運営

開所日：毎月第2・4金曜日

時 間：10：00～14：30

場 所：ふれあいセンターこうだ

新型コロナウイルス感染拡大防止により、サロン活動は自粛されましたが、毎月の役員会を通じて、利用者へ手紙や自宅でできる脳トレ、季節に応じたプレゼントなどを利用者宅に訪問し、見守りとつながりの継続を図りました。

〔実績表〕

延開所日	延べ利用者数
0	0

実施地域：八千代町佐々井地域

1) えがおサロンやちよ運営

開所日：毎月第1・3月曜日

時 間：9：30～11：30

場 所：八千代人権福祉センター

〔実績表〕

延開所日	延べ利用者数
12	180

実施地域：吉田町吉田地区

1) りあん吉田運営

開所日：毎月第1・3水曜日

時 間：13：30～15：30

場 所：ふれあいセンターいきいきの里

〔実績表〕

延開所日	延べ利用者数
14	423

実施地域：高宮町佐々部地区

1) なかよしカフェ運営

開所日：毎月第2・4水曜日

時 間：10：00～12：00

場 所：安芸高田市役所高宮支所

〔実績表〕

延開所日	延べ利用者数
5	102

実施地域：吉田町可愛地区

1) 小山サロンやまびこ運営

開所日：毎月第2木曜日、第3土曜日

時 間：13：30～15：30

場 所：小山会館

〔実績表〕

延開所日	延べ利用者数
3	65

実施地域：美土里町北地区

1) きんさいサロン運営

開所日：毎月第1・3水曜日

時 間：13：30～15：30

場 所：美土里町北振興会館

〔実績表〕

延開所日	延べ利用者数
15	131

- ② 第1回 令和2年度あんしんサポートリーダー研修  
日時：令和2年11月30日（月）13：00～16：30  
場所：広島県社会福祉会館 講堂  
参加者：4名

第2回 令和2年度あんしんサポートリーダー研修  
新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン研修  
日時：令和3年2月26日（金）10：00～12：30  
場所：吉田老人福祉センター 大集会室  
参加者：11名

- ③ 令和2年度あんしんサポートリーダーフォローアップ研修  
新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン研修  
日時：令和3年1月13日（水）14：00～16：30  
場所：安芸高田市保健センター 第1研修室  
参加者：8名

## （2）認知症カフェ事業

- ① 認知症カフェ「あいちゃんのホッとするカフェ」

地域で生活している認知症の方や、家族、地域住民、医療や介護の専門職、認知症について関心のある方など、誰もが気軽に集まり、安心して交流を楽しむ場として開催予定としていましたが、昨年3月より新型コロナウイルス感染拡大防止により、開催中止としました。

毎月、関係機関による運営会議をおこない、利用者（84名）、支援員（17名）に手紙や自宅できる脳トレや軽運動の紹介することで、つながりの継続を図りました。気になる方にたいしては、地域包括支援センターと担当者が同行訪問を行ないました。

- ② 認知症カフェ協力員会議

日時：令和3年3月11日（木）13：30～14：30  
内容：令和3年度認知症カフェ開催について  
出席者：6名



## （3）福祉サービス利用援助事業「かけはし」

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者などの判断能力が不十分な方に対して、地域で生活を送ることができるよう、福祉サービスの利用支援、日常的な金銭管理、通帳・印鑑・証書等の預かりを内容とする福祉サービスの利用援助を行ない

ました。

〔実績表〕

	吉田	八千代	美土里	高宮	甲田	向原	合計
登録者数	17	2	7	0	2	8	36
延支援回数	3,515	212	961	0	321	831	5,840
生活支援員	5	2	2	2	1	1	13

#### （４）地域福祉交流推進基金事業

##### 【地域福祉会議】

住民が主体的に地域の福祉課題を把握して、解決を試みる我が事の地域づくりおよび地域の福祉課題を包括的に受け止める丸ごとの地域づくりという地域共生社会の実現を目指す地域基盤づくりを行ないます。

##### ① 地域福祉会議推進状況連絡会議

対象者：本所地域福祉課職員、支所職員、各地域福祉会議議長

###### 【第1回】

日時：令和2年8月12日（水）10：00～11：30

場所：安芸高田市保健センター 第5研修室

内容：地域福祉会議の進捗状況の共有  
地域担当の協議

###### 【第2回】

日時：令和3年3月24日（水）13：30～15：00

場所：安芸高田市保健センター 第1研修室

内容：地域福祉会議について  
吉田、八千代、美土里地域福祉会議の進捗状況について  
地域福祉会議に伴う支所の人員体制について  
令和3年度計画について  
※未設置地域の社協役員出席  
※広島県社協の指導を受け、各地域福祉会議の進捗状況や気づき、課題整理を行ないました。

##### ② 地域福祉会議情報共有会議

対象者：本所地域福祉課職員、支所職員

###### 【第1回】

日時：令和2年10月9日（金）10：30～12：00

場所：ふれあいセンターいきいきの里

内容：各地域福祉会議の進捗状況の共有、課題整理  
※広島県社協の指導を受け、各地域福祉会議の進捗状況や気づき、課題整理を行ないました。

## 【第2回】

日 時：令和2年11月12日（木）10：00～12：00

場 所：吉田老人福祉センター

内 容：各地域福祉会議の進捗状況の共有、課題整理

※広島県社協の指導を受け、各地域福祉会議の進捗状況や気づき、課題整理を行ないました。

### ③ 地域福祉会議研修

対象者：本所地域福祉課職員

日 時：令和2年4月24日（金）14：00～15：15

場 所：安芸高田市保健センター 第1研修室

内 容：地域福祉会議の取り組みについて

### ④ 地域福祉会議

吉田地域福祉会議（委員数9名）

区 分	内 容	実施日	出席者
第1回	○先進地の取り組みについて ○事業報告、決算報告について ○事業計画、予算について ○社協事業について	令和2年6月30日	9名
第2回	○地域福祉会議要綱について ○各地域の生活課題について	令和2年7月28日	9名
第3回	○課題内容の確認、地域の把握 ○令和2年度計画について	令和2年9月17日	8名
第4回	○集会所一覧表作成 ○地域集いの場マップ作成	令和2年10月15日	8名
第5回	○地域集いの場マップ作成 ○今後の取り組みについて	令和2年11月12日	8名
第6回	○情報交換と共有 ○免許返納支援、お太助協力店	令和2年12月18日	9名
第7回	○取り組み内容の共有 ○集いの場づくりについて	令和3年1月29日	9名
第8回	○ふれあいサロン事業について ○令和2年度予算執行について	令和3年2月24日	8名
第9回	○令和2年度の取り組みについて ○予算執行状況 ○令和3年度計画（案）	令和3年3月11日	9名

第3回～第5回は、広島県社会福祉協議会より同行支援を受けました



八千代地域福祉会議（委員数 9 名）

区 分	内 容	実施日	出席者
第 1 回	○先進地の取り組みについて ○事業報告、決算報告について ○事業計画、予算について ○社協事業について	令和 2 年 6 月 23 日	8 名
第 2 回	○地域福祉会議要綱について ○各地域の生活課題について	令和 2 年 7 月 30 日	8 名
第 3 回	○運営要綱（案） ○アンケート内容について ○活動依頼書、活動簿作成 ○予算計画書	令和 2 年 9 月 11 日	8 名
検討会	○アンケート内容検討会	令和 2 年 9 月 23 日	8 名
第 4 回	○アンケートの内容について ○グループワーク ○令和 2 年度計画について	令和 2 年 10 月 14 日	9 名
第 5 回	○アンケート内容について ○アンケート実施について	令和 2 年 11 月 16 日	8 名
第 6 回	○アンケート進捗状況について ○集いの場の参加者について	令和 2 年 12 月 15 日	8 名
第 7 回	○アンケート集計について	令和 3 年 1 月 19 日	9 名
集計会	○アンケート集計	令和 3 年 2 月 1 日	7 名
第 8 回	○アンケート集計結果について	令和 3 年 2 月 18 日	7 名
第 9 回	○令和 3 年度計画について ○アンケート集計結果について	令和 3 年 3 月 18 日	8 名

第 3 回～第 5 回は、広島県社会福祉協議会より同行支援を受けました

美土里地域福祉会議（委員数 10 名）

区 分	内 容	実施日	出席者
第 1 回	○先進地の取り組みについて ○事業報告、決算報告について ○事業計画、予算について ○社協事業について	令和 2 年 6 月 24 日	6 名
第 2 回	○地域福祉会議要綱について ○各地域の生活課題について	令和 2 年 7 月 29 日	5 名
第 3 回	○予算計画について ○美土里町の資源について ○テーマの絞り込み	令和 2 年 9 月 16 日	3 名
第 4 回	○課題の確認、取り組みについて ○予算計画書	令和 2 年 10 月 21 日	3 名

第5回	○アンケートの内容について ○予算計画について	令和2年11月18日	8名
第6回	○アンケートの内容について ○予算計画について	令和2年12月10日	6名
第7回	○アンケート対象者の集計 ○アンケート実施内容について	令和3年1月18日	7名
第8回	○令和2年度予算について ○アンケート進捗状況について ○アンケート集計について	令和3年2月15日	9名
第9回	○アンケート集計作業	令和3年3月4日	9名

第3回～第5回は、広島県社会福祉協議会より同行支援を受けました

## (5) 福祉・介護人材確保基盤整備事業

行政、福祉団体、ハローワーク、県社協と協働して安芸高田市福祉・介護人材確保等総合支援協議会を設立し、福祉・介護人材の確保・育成・定着を図る取組を実践します。

### ① 安芸高田市福祉・介護人材確保等総合支援協議会：計1回

区分	内容	実施日
第1回	○令和2年度協議会体制について ○令和元年度事業報告 ○受講に関するアンケート結果 ○令和2年度事業計画、予算(案) ○介護支援専門員試験対策講座について ○関係機関との情報共有化 ○令和2年度広島県社協の取組みについて	令和2年6月25日

※第2回の会議を開催予定としていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止のお知らせ通知文書の発送

### ② 介護支援専門員対策模試講座

1回目：8月6日(木) 10:00～

2回目：9月3日(木) 10:00～

申込者：6名

### ③ 介護職員初任者研修

募集期間：令和2年8月11日～9月末日

申込者：14人

研修期間：令和2年10月8日～令和3年1月21日(計14日間)

卒業生：14人

※実技は、講師および全研修生がフェイスシールド、マスクを着用しながら、新型コロナウイルス感染対策を徹底しながら受講されました。

## (6) ふれあいサロン事業

閉じこもり防止や、楽しく過ごせる場づくりとしてふれあいサロンを推進し、各サロンへの活動費を助成するほか、新規サロン開設や運営についての相談、ふれあいサロン代表者会議での情報提供等を行ないました。



※新型コロナ感染拡大防止集中対策に伴い、12月開催自粛および、感染予防の徹底のお願い通知文書を発送

[活動実績表]

	サロン数 (うち新規数)	開催数	延利用者数
吉 田	14 (5)	96	1,488
八千代	16	86	924
美土里	17	91	1,445
高 宮	11	25	207
甲 田	32 (5)	199	2,215
向 原	20	133	1,887
合 計	110(10)	630	8,166

### ① サロン代表者会議

	開催数	延出席者数
吉 田	2	14
八千代	4	58
美土里	2	17
高 宮	2	14
甲 田	2	41
向 原	2	27
合 計	14	171

## (7) 成年後見事業

判断能力が不十分な方の契約や財産管理を手助けする後見人を、法人で受任すると同時に、住民の皆さまの身近な相談所となるよう努めました。

[実績表]

	後見	保佐	補助	合計
受任件数	3	0	0	3
延支援回数	193	0	0	193

### ① 審査委員会

第1回契約締結審査委員会

日時：令和3年3月10日(水) 13:30~14:00

場所：安芸高田市保健センター 第1研修室

内容：福祉サービス利用援助事業の利用者案件 1件

## (8) ボランティア活動・被災者生活サポートボラネット事業

ボランティア情報の収集と発信、関係分野の団体等と協働による活動ニーズの把握、ボランティアコーディネート業務、ボランティアに関する人材の養成、ボランティアの情報交換の場の提供などによりボランティア活動を進めました。

### ① ボランティアの発掘・育成

#### 1) 「ぶちボランティアスクール」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

#### 2) 「福祉・介護・出前講座」

地域の住民の集会等において、福祉及び介護に関する知識や情報を収集することを支援するため、市社協職員又は市社協が認める外部組織の講師を派遣し、福祉・介護の出前講座を行ないました。

[実績表]

	講座回数	受講者数
認知症	1	14
こころの健康	1	15
健康づくり	4	109
福祉体験	3	129
レクリエーション	4	59
高齢者の生き方	9	9

介護の豆知識	1	20
福祉・介護制度	3	43
災害(予測・支援)	1	9
合 計	27	407

② ボランティアに関する情報提供・斡旋紹介・登録・相談等

社協ホームページを活用して情報提供を行なうほか、ボランティアニーズの斡旋紹介や各種相談に応じました。

[実績表]

	登録者数 (人)	登録団体数
吉 田	82	1
八千代	12	2
美土里	119	11
高 官	3	4
甲 田	7	0
向 原	6	0
市 域	23	2
合 計	252	20

活動内容：施設ボランティア（デイサービス手伝い、小物作りなど）・ふれあいサロン・環境保全ボランティア（花植え・ゴミ拾いなど）・配食ボランティア・朗読ボランティア・手話ボランティアなど

③ 各関係機関との連携

各関係機関との連携を図りながら、ボランティアニーズの把握や情報共有等を行ないました。

1) 会議開催

安芸高田市ボランティア連絡協議会

[第1回]

日 時：令和2年10月13日(火) 13:30～

内 容：令和元年度事業報告・収支決算について  
令和2年度事業計画・収支予算について  
市域交流会について

出席者：6人

2) 交流活動

日 時：令和2年11月22日(日) 9:00～

内 容：郡山城登山道付近清掃活動

参加者：68人



- 3) ボランティア派遣  
 [安芸高田市身体障害者グランドゴルフ大会]  
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止  
 [安芸高田市身体障害者福祉大会]  
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- 4) ボランティア講演会  
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

#### ④ 被災者生活サポートボラネット推進事業

いざという時の「共助」を培うために、平常時も被災者生活サポートボラネットを常設させ、関係機関・団体等と災害時における対応について改めて確認しました。



構成団体：20 団体

##### 1) 会議開催

安芸高田市被災者生活サポートボラネット推進会議

日時：令和2年7月21日(火) 13:30~14:30

場所：安芸高田市保健センター 第1研修室

内容：新型コロナウイルス感染症防止を踏まえた災害ボランティアセンター運営の考え方について  
 被災者生活サポートボラネット推進マニュアルについて  
 災害シミュレーション研修について

出席者：17人

##### 2) 災害シミュレーション研修

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催自粛

### (9) 日常生活応援サービス事業「ほほえみネット」

暮らしの中のちょっとした困りごとを応援し合うお互いさま活動として、手伝いを必要とする利用者の相談を受け、手伝いをする協力員をコーディネートする等、助け合いのサービスを推進しました。

支援件数：371件

協力員数：51人

[活動内容]

内容	活動件数
家事援助（掃除・調理等）	155
見守り・話し相手	21
粗大ゴミの搬出・ゴミ出し	96
買い物	70
薬の受取り	16

散歩の付き添い・犬の散歩	8
その他	5
合 計	371

## (10) 安心生活創造事業

一人暮らし世帯、高齢者・障がい者世帯が地域で安心して暮らせるための応援活動として、日常的に支援が必要な方に、地域住民が連携し、利用者宅へ巡回訪問する見守り活動および契約訪問による生活支援を行ないました。

### ① 見守り活動および生活支援

生活・介護サポーター養成講座を修了した登録訪問員が、利用者宅へ巡回訪問する見守り活動および契約訪問による生活支援を行なうための連絡調整を行ないました。また、支援対象者の実態把握調査等の利用対象者としての利用申請手続きも行ないました。

※昨年より新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動制限

[実績表]

	利用者数	訪問員数	巡回訪問 支援回数	契約訪問 支援回数	実態把握 調査数
吉 田	9	78	151	0	0
八千代	8	35	252	4	0
美土里	5	35	133	0	0
高 宮	0	52	0	0	0
甲 田	7	66	184	1	0
向 原	0	18	0	0	0
合 計	29	284	720	5	0

## (11) ファミリー・サポート・センター事業

仕事や急な用事のため、早朝や夕方、または休日などに子どもを保育できない保護者のため、子育てを応援して欲しい人（依頼会員）と子育てを応援してくれる人（提供会員）との連絡調整を行ない、両方を繋げ子育ての応援を行ないました。

支援件数：1,101件

提供会員： 48人

依頼会員： 55人

両方会員： 4人



〔支援内容〕

内 容	支援件数 (件)
学童保育・学校の送迎	621
学童保育の開始前や終了後の預かり	256
保育施設までの送迎	223
保護者の急用の場合の預かり	1
合 計	1,101

① 交流会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

② 合同研修会

ファミリー・サポート・センター事業の提供会員・依頼会員と子育て支援センター事業の一時預り会員合同での研修会を開き安芸高田市消防署警防課の方に、子どもに起こりやすい事故の話や心肺蘇生法、AEDの使い方等を学びました。研修終了後には、救急車や指令室の見学をさせていただきました。

「ファミリー・サポート・センター事業一時預り事業合同研修会」

日 時：令和2年11月28日(土) 9:30～12:00

内 容：子どもに起こりやすい事故と応急手当、  
心肺蘇生法、AEDの使い方

参加者：提供会員1人、依頼・一時預り会員2人、  
その他5人、子ども1人、計9人

(12) 子育て支援センター一時預り事業

上の子の参観日や通院、美容院や仕事など急な用事で子どもを保育できない時、吉田支所内の保育室「ふわふわ」で一時的に子どもを預り、保育を行ないました。



支援件数：266件

会員数：157件

〔利用理由〕

内 容	利用件数
保護者の勤務の都合	112
私用	76
兄弟姉妹の行事の参加	28
保護者の通院・体調不良	20



リフレッシュ	15
美容院	4
引っ越し準備	4
家族の通院・健診等	3
免許の更新・確定申告	2
就職活動	1
買い物	1
合 計	266

※利用に関する新型コロナウイルス感染拡大防止対策について通知文書の発送

### (13) 障がい者地域生活アシスタント事業

障がいのある方が、地域のなかで安心して暮らすことができるよう、生活協力員と利用者との連絡調整を行ない、利用者のサポートを推進しました。また、事業に関する相談対応等行ないました。

〔実績表〕

	吉 田	八千代	美土里	高 宮	甲 田	向 原	合 計
利用者数	4	0	0	0	0	0	4
延支援回数	40	0	0	0	0	0	40
生活協力員	7	6	1	2	2	1	19

#### ① 講演会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

### (14) 配食サービス事業

在宅の高齢者に対して、配食ボランティアが栄養バランスのとれた食事を定期的に配達し、あわせて安否確認や体調の変化の察知を行ない、関係機関との連携を図りました。

※昨年より新型コロナウイルス感染拡大防止のため、手洗い、うがい、マスク着用の徹底。滞在時間の短縮。



〔実績表〕

	八千代	高 宮	甲 田	合 計
登録者数	23	36	35	94
配食回数	96	49	49	194
配 食 数	519	670	245	1,434

### (15) 生活福祉資金・つなぎ資金貸付事業

資金名	令和元年度	令和2年度		
	年度末件数	新規貸付 件数	償還件数	償還免除 件数
1. 高額療養・出産費貸付資金				
(1) 高額療養費貸付資金	0	0	0	0
(2) 出産費貸付資金	0	0	0	0
2. 生活福祉資金				
(1) 生活福祉資金	3	0	0	0
(2) 緊急小口資金	5	3	2	0
3. 生活福祉資金特例貸付（新型コロナウイルスの影響による貸付）				
(1) 緊急小口資金	1	104	1	0
(2) 総合支援資金	0	22	0	0

### (16) 車椅子1日無料貸出

各支所にある社協の所有する車椅子を一時的(1日間)に必要なとされる方へ無料で貸出を行うことで、通院や外出時等の便宜を図りました。

[実績表]

	吉田	八千代	美土里	高宮	甲田	向原	合計
利用者数	0	0	1	2	1	1	5

## 【関連機関事務事業】

### (1) 安芸高田市共同募金委員会事務事業

さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む住民団体やグループ等を支援する仕組みとして、また、住民のやさしさや思いやりを届ける運動として、「じぶんの町を良くするしくみ。」をメインテーマに赤い羽根共同募金運動を行ないました。

#### ① 運営委員会：計2回

区分	内容	実施日
第1回	○令和元年度事業報告・決算の承認について	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面議決
第2回	○令和3年度事業計画・会計予算について	令和3年3月24日

#### ② 審査委員会：開催実績なし

#### ③ 募金実績（集計金額 令和3年3月31日現在）

[単位：円]

	戸別募金	法人募金	職域募金	街頭・イベント募金	その他	歳末	学校	合計
吉田	1,260,200	82,952	322,800	0	62,236	0	0	1,728,188
八千代	549,000	31,000	64,600	0	4,705	0	0	649,305
美土里	416,000	33,000	53,800	0	5,074	0	0	507,874
高宮	505,500	48,000	110,600	0	24,719	0	0	688,819
甲田	669,500	64,000	62,000	0	21,501	0	0	817,001
向原	641,100	31,000	71,600	0	5,199	0	0	748,899
市外					0	0	0	0
合計	4,041,300	289,952	685,400	0	123,434	0	0	5,140,086

### (2) 共同募金配分金事業

市民の皆さまにご協力いただいた募金は地域福祉充実のために活用しています。

#### ① 社会福祉協議会事業への配分

- ・地域福祉交流基金事業 1,000,000円
- ・ボランティア活動事業 30,000円
- ・ふれあいサロン事業 1,050,000円
- ・配食サービス事業 300,000円
- ・小地域のお茶の間づくり事業 290,000円
- ・認知症カフェ事業 286,000円

#### ② 地域助成事業配分

- ・市内の地域住民で組織する1団体へ総額100,000円の助成

#### ③ 共同募金委員会運営



### (3) 日本赤十字社広島県支部安芸高田市地区事務事業

災害救護・救急法講習・AED（自動体外式除細動器）の普及など健康と安全を守る活動や、看護師養成・血液事業・医療事業の推進に活用させていただくため、活動資金（会費）の募集を行ないました。また、災害に対し各義援金を取扱い、広島県支部を通じて被災地へ届けることができました。

区 分	内 容	実 施 時 期
戸別会費	○福祉委員へ依頼通知 500 円／戸	令和 2 年 5 月 1 日～ 令和 3 年 3 月 31 日

#### ① 会費納入（集計金額 令和 3 年 3 月 31 日現在） [単位：円]

	一般会費	世帯数	納入世帯数	納入率
吉 田	1,210,000	3,796	2,419	63.7%
八千代	528,000	1,233	1,074	87.1%
美土里	412,000	903	822	91.0%
高 宮	535,800	1,241	1,060	85.4%
甲 田	641,500	1,657	1,264	76.3%
向 原	631,500	1,462	1,263	86.4%
合 計	3,958,800	10,292	7,902	76.8%

#### ② 災害義援金受付状況 [単位：円]

義援金・救援金名	受付期間	義援金
平成 28 年熊本地震災害義援金	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 3 年 3 月 31 日	0
平成 30 年 7 月広島県 豪雨災害義援金	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 3 年 3 月 31 日	19,274
平成 30 年 7 月豪雨災害義援金	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 3 年 3 月 31 日	15,338
令和元年台風 19 号災害義援金	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 6 月 30 日	15,353
令和 2 年 7 月豪雨災害義援金	令和 2 年 7 月 7 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	131,080

#### ③ 災害、火災等への支援協力 [災害支援]

災害発生日	地域	状況	毛布	緊急セット	バスカ	寝衣大	寝衣小	学用品
令和 2 年 11 月 26 日	高宮	全焼	0	0	0	0	0	0

※ ひとり暮らしの方の住宅で火災が発生し、火災により亡くなられたため、災害救援物資の交付はなく香華料を贈った。

④ 赤十字講習会

〔実績表〕

〔単位：回〕

AED	救急法	災害時高齢者生活支援講習	健康生活支援講習会	幼児安全法	合計
0	0	0	0	0	0

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講習会が中止・延期された。

## 【在宅福祉課】

### 介護保険事業

介護保険事業全体で新型コロナ助成金等の活用で、感染症に対応するマスクやガウン等の備品を整備、消毒作業等を徹底し利用者、職員の安全確保をしました。全体で若干利用者数の減少があり、市内の状況を見据えながら事業展開をしました。

職員の外部研修が従来のようにできないため、内部研修を活用し職員の資質向上に努めてまいりました。

また、訪問吉田事業所以外の各事業所に県・市の指導監査があり、適正な事業運営との判断を頂きました。継続して運営基準の遵守ができるよう、各事業所の確認体制を構築、継続していきます。

### (本所事業所)

#### (1) 居宅介護支援事業

日常生活の困りごとや介護に関する相談、介護認定申請の代行、居宅サービス計画書の作成等を行ないました。質の高いマネジメントを実施するため、事業内での情報共有や研修機会を確保しスキルの向上を図るとともに、支援困難ケースへの積極的な対応を行ないました。地域支援活動を他機関の専門職と合同で推進し、健康増進や終活への啓発活動に取り組みました。

##### 1) 介護保険

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和2年度	1,827	152	84%

##### 2) 介護予防・総合事業

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和2年度	266	22	314%

##### 3) 要介護認定調査

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和2年度	44	3	44%

#### 4) 困難事例対応

〔実績表〕

	困難事例受入数 (人)	地域ケア会議出席(回)	前年対比
令和2年度	3	3	300%

#### 5) 地域支援活動(町別)

昨年度は人員体制により出前講座への参加が減少しましたが、今年度は依頼のあった講座に、介護保険や健康増進等への住民の方への働きかけを行いました。

〔実績表〕(出前講座講師)

	支援活動数(回)	延支援活動数(人)
吉田	0	0
八千代	4	69
美土里	0	0
高宮	0	0
甲田	1	15
向原	3	38
合計	8	122

## (2) 福祉用具貸与事業

心身の状況、生活環境を踏まえた適切な福祉用具の選定援助、取付け、調整等を行ない、福祉用具の貸出や販売を通して、日常生活での自立支援や介護負担の軽減に努めました。定期ミーティングにより内部での情報共有を密にし、細かなモニタリングを実施するとともに、利用者の都合に合わせ柔軟な対応を行ないました。

#### 1) 介護保険

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数 (人)	前年対比
令和2年度	2,781	232	97%

#### 2) 介護予防

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数 (人)	前年対比
令和2年度	1,428	119	93%

### 3) 自費レンタル事業

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数 (人)	前年対比
令和2年度	236	20	86%

### (3) 福祉用具販売事業

全体(介護保険・介護予防・介護保険対象外等)

〔実績表〕

	延利用件数(件)	月平均利用件数 (件)	前年対比
令和2年度	104	9	75%

### (吉田事業所)

#### (1) 訪問介護事業

住み慣れた地域で、可能な限り居宅において、利用者の有する能力に応じ自立した日常生活がおくれるよう、要介護者・要支援者を対象に、訪問介護員が身体介護や生活援助の提供をしました。特定事業所加算算定事業所として人材要件、体制要件(計画的な内・外部研修、定例会議等)を整え、事業運営を行ないました。

##### 1) 介護保険

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和2年度	527	44	100%

##### 2) 総合事業

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数 (人)	前年対比
令和2年度	189	15	83%

#### (2) 障害者自立支援事業

住み慣れた地域で、安心して自立した生活がおくれるよう、障がい支援区分認定者を対象に訪問介護員が居宅を訪問して、身体介護・生活援助、外出支援を行ないました。



### 1) 障害サービス：居宅介護

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数 (人)	前年対比
令和2年度	163	13	86%

### 2) 地域生活支援：移動支援

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数 (人)	前年対比
令和2年度	0	0	該当なし

## (3) 養育支援家庭訪問事業（受託）

養育支援が特に必要な家庭に、訪問介護員が家事及び育児等の援助を行ないます。今年度、市からの要請依頼は1件で回数は1回の実績がありました。

[実績表]

	延利用回数(回)	前年対比
令和2年度	1	10%

## (4) 訪問介護自費サービス事業

介護保険サービスでは対応できない内容において、訪問介護吉田事業所が相談を受け、訪問介護員が身体介護や生活援助の提供を行ないました。

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数 (人)	前年対比
令和2年度	13	1	70%

## (甲田事業所)

### (1) 訪問介護事業

住み慣れた地域で、可能な限り居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活がおくれるよう、要介護者・要支援者を対象に、訪問介護員が身体介護や生活援助の提供をしました。特定事業所加算算定事業所として人材要件、体制要件（計画的な内部研修、定例会議等）を整え、事業運営を行ないました。

### 1) 介護保険

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和2年度	402	34	100%

### 2) 総合事業

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和2年度	144	12	70%

## (2) 障害者自立支援事業

住み慣れた地域での安心生活を支えるため、障がい支援区分認定者を対象に訪問介護員が居宅を訪問して、身体介護・生活援助を行ないました。

### 1) 障害サービス：居宅介護

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和2年度	26	2	80%

### 2) 地域生活支援：移動支援

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和2年度	11	0.9	90%

## (3) 通所介護事業

居宅において、要支援・要介護状態にある高齢者を対象に、入浴や食事等の必要な援助、機能訓練の提供を行ないました。日々介護に携わっている介護者の身体的・精神的負担の軽減に努めるとともに、一人ひとりが持つ能力を十分に発揮してもらえよう、能動的音楽療法や軽度運動療法によるメニューをおこない、心身機能の維持向上や孤立感の解消に努めました。

## 1) 介護保険

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数 (人)	前年対比
令和2年度	490	41	93%

## 2) 総合事業

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数 (人)	前年対比
令和2年度	138	12	85%

### (4) 一般介護予防事業 (げんき教室)

地域の集会所を拠点に、高齢者がいつまでも元気でいきいきと生活していけるよう、介護予防活動を推進しました。専門職員が中心となり、教室ごとに地域性や参加者の身体的状況を考慮し、創意工夫を凝らしたメニューにより、生活機能の維持・向上に向けた取組みを行ないました。

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、参加者の健康と安全を第一に考えた取組みをおこないました。

- ① 内容：健康チェック、介護予防運動、認知症・うつ予防 など
- ② 対象者：65歳以上、要介護認定を受けていない方、要支援認定を受けていてもデイサービス、デイケアまたは新しい総合事業通所型サービスを利用していない方
- ③ 開催日：年間49回まで
- ④ 場所：吉田老人福祉センター・ふれあいセンターいきいきの里  
丹比生活改善センター・丹比西集会所  
ふれあいセンターこうだ・山田集会所  
高地ふれあい集会所・長屋集会所・火の谷集会所  
北原集会所・前田会館

※新型コロナウイルス感染拡大予防として  
参加者の健康と安全を第一に考え自粛しました。

令和2年4月13(月)～5月6日(水)

令和2年5月7日(木)～5月31日(月)

令和3年1月4日(月)～1月15日(金)



[実績表]

	会場名	登録者 (人)	開催数 (回)	延参加数 (人)
吉田	吉田老人福祉センター	8	39	189

	ふれあいセンターいきいきの里	15	39	418
	丹比生活改善センター	18	39	575
	丹比西集会所	15	41	326
甲田	ふれあいセンターこうだ	17	38	379
	山田集会所	8	37	203
	高地ふれあい集会所	10	41	280
	長屋集会所	10	38	185
	火の谷集会所	7	40	245
八千代	北原集会所	7	39	205
	前田会館	9	39	271
合 計		137	430	3,276

## 【地域包括支援センター】

### (1) 総合相談業務（権利擁護相談含む）

介護や医療、福祉など様々な相談を受け、相談内容に応じて適切な関係機関と連携を取りながら、早期対応と問題解決に努めました。

また、様々な行事や地域活動に参加し、気軽な相談窓口として地域包括支援センターの周知を図りました。

相談者	延件数	相談内容	延件数
本人	41	在宅介護	68
家族	158	公的福祉サービス	7
市役所	56	介護保険	352
介護サービス事業所	150	認知症	38
病院・薬局	66	福祉用具	13
障害者基幹相談支援センター	2	住宅改修	7
社協	32	公的サービス以外の 社会資源	5
民生委員	44	高齢者虐待	11
福祉委員	0	成年後見	6
近所	2	消費者被害	1
知人	5	アルコール依存等	2
警察	1	行方不明	0
他市町	4	精神・健康問題	19
障害サービス事業所	2	生活困窮	4
その他	1	その他	31
合 計	564	合 計	564

相談方法	延件数
電話	405
来所	125
訪問	6
外出先で相談を受けた	28
その他（会議等）	0
合 計	564

① 三職種支援実績：三職種が関係機関等と連携して支援した実績

令和2年度	支援実人数	428人
	支援延べ回数	2,664回

② 支援の詳細 ※重複あり

連携機関	相談件数
本人	1,145
家族・親族	918
ケアマネ	430
介護サービス事業所	300
市役所	308
病院・薬局	249
民生委員	142
社協	67
友人・知人・隣人	40
その他	145
合 計	3,744

支援内容	件数
介護保険	1,494
健康・医療	624
家族関係・人間関係	120
精神・アルコール	317
認知症	349
生活環境	402
家計・経済	153
福祉サービス	119
権利擁護（後見・虐待）	293
福祉サービス外	124
その他	19
合 計	4,014

(2) 権利擁護業務

虐待の早期発見・把握に努め、市役所や他機関と連携して早期解決に向けて対応しました。

消費者被害、成年後見制度の相談に応じ、情報提供や啓発を行ないました。

① 高齢者の虐待状況等

項目	件数	備考
1) 相談・通報受理件数	10	
2) 相談・通報者		
家族・親族	0	
本人	0	
介護支援専門員等	7	居宅2、サービス事業所4 民生委員1

	行政職員	3	
3)	事実確認調査の結果		
	虐待と判断	6	
	虐待ではないと判断	0	
	虐待の判断に至らなかった	4	
	経過観察・事実確認中等	0	
4)	終結	6	

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント業務

高齢者におけるさまざまな問題を解決するために、関係機関と連携を図りながら支援を行ないました。また、地域のケアマネジャー間のネットワーク作りを行ない、情報交換や後方支援を行ないました。

#### ① 研修会の開催

地域の介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会を開催することで、介護支援専門員のスキルアップを図るとともに、顔の見える関係や今後の支援体制の構築を図りました。

研修会名	日時	参加者
第1回野中式事例検討会	令和2年10月30日(金)	30名
第2回野中式事例検討会	令和3年1月22日(金)	中止
第1回自立支援型 ケアマネジメント勉強会	令和2年12月10日(木)	25名

#### ② 地域ケア会議の開催

内容	回数
個別課題解決	9回
地域課題解決	1回

#### ③ 小規模多機能運営推進会議への参加

内容	回数
小規模多機能運営推進会議	会議11回・書面9回(9事業所)

#### ④ 居宅介護支援事業所連絡協議会への参加

内容	回数
安芸高田市居宅介護支援事業所連絡協議会	3回

⑤ 第1回「繋がろう通所の輪」の開催

日々の業務やコロナ感染症対策等の様々な取り組み・抱えている課題等の共有、事業所間同士での連携の強化、質の高いサービス提供を行なえる事業所体制の構築ができるきっかけ作りの会議を発足し、開催しました。

日 時：令和3年3月18日（木）18：00～19：30

場 所：クリスタルアージュ 402 会議室を開放しオンライン会議に接続  
Zoom を活用したオンライン会議

内 容：新型コロナ対策について  
人材確保・業務について

参加事業所：通所介護事業所(7 事業所)

通所リハビリテーション事業所(2 事業所)

小規模多機能型施設(2 事業所)

(4) 介護予防ケアマネジメント業務

要支援の方へ、自立支援のための介護予防サービス計画作成およびサービス提供の支援を行ないました。

認定調査を安芸高田市から受託し、介護支援専門員が家庭等を訪問し本人の心身の状態を調査しました。

① 指定介護予防支援業務

		延利用者数(人)	月平均利用者数(人)
令和2年度	直営分	2,342	195
	委託分	1,525	127
	小計	3,867	322

② 介護予防ケアマネジメント

		延利用者数(人)	月平均利用者数(人)
令和2年度	直営分	726	60
	委託分	603	50
	小計	1,329	110

③ 認定調査

	延調査件数(人)	月平均調査件数(人)
令和2年度	29	2.4

## (5) 市・関係機関との連携

様々な会議に参加し、常に市役所や関係機関等と情報共有や連携を図りました。  
また、多職種連携研修や市民公開講座等で地域住民と関わりを持ち、関係作りに努めました。

### ① 会議関係

内容	回数
市との定例会議	会議 9 回・書面 3 回
在宅医療・介護連携推進会議	中止
在宅医療・介護連携会議地域課題部会	中止
障害者自立支援協議会	会議 5 回・書面 1 回

### ② 研修会・講演会

内容	回数
多職種連携研修会	1 回
ミニ市民公開講座	中止

## (6) 出前講座

依頼のあった団体等へ出向き、高齢者の生き方や健康づくり等の講座を行うとともに、地域包括支援センターの周知を図りました。

団体	内容	回数	延参加者
・ふれあいサロン ・老人クラブ 等 (10 会場)	・高齢者の生き方 ・健康づくり ・心の健康 ・認知症 等 ※毎回包括 PR	11 回	231 名

## (7) 講師派遣

依頼のあった団体へ認知症サポーターフォローアップ研修やげんき教室への認知症について講座を行ないました。

団体	内容	回数	延参加者
・健康あきたかた 21 ・げんき教室 (11 会場)	・認知症フォローアップ 研修 ・認知症について	12 回	129 名



## (8) 研修会への参加

業務に関係する研修会へ参加し、個々のスキルアップを図るとともに、研修会で学んだことを事業所内で周知し、事業所としてのスキルアップに努めました。

内容	回数
自立支援型地域ケア会議研修会	1回
高齢者虐待対応研修	3回
自立支援型ケアマネジメント研修会	3回
地域包括支援センター職員研修	1回
ひきこもりの理解	2回
オンライン会議に向けて	2回
クレーム・苦情処理研修会	2回
ACP	2回
その他	7回
合 計	23回